

2001年8月7日

いすゞ 中型トラック

「フォワード CNG(圧縮天然ガス)車」を改良

いすゞ自動車(株)は、中型トラック「フォワード」のCNG(Compressed Natural Gas=圧縮天然ガス)車に、車型の拡大や車体軽量化などの商品力向上を図り、8月7日より全国一斉に発売する。

今回の改良では、「フォワード CNG 車」に ショートキャブ車を新規設定するなど、車型展開を拡大するとともに、軽量なアルミ合金製の CNG 燃料容器を採用することで車体の軽量化を図った。

天然ガスは、イオウ分などの不純物を含まないクリーンな燃料であり、世界各地に存在し、その埋蔵量も石油を大きく上回ると言われ、将来の石油代替燃料として期待されている。また、この天然ガスを燃料とした CNG 車は 燃焼過程で発生する NOx(窒素酸化物)、HC(炭化水素)、CO(一酸化炭素)などの大気汚染物質の排出量が非常に少なく、さらに PM (Particulate Matter=粒子状物質)及び黒煙がまったく発生しないという特性を持っている。

いすゞは 1996 年に小型トラック「エルフ CNG 車」を、1997 年に中型トラック「フォワード CNG 車」を発売するなど積極的に商品開発を行い、着実に販売を伸ばしてきた。そして今回 「フォワード CNG 車」 の商品力を向上させることで、増大するクリーンエネルギー車の需要に応えることとした。

主な商品概要は次のとおり

【商品力の向上】

(1)フォワード CNG 車に、標準キャブ車よりも長い荷台を確保できるショートキャブ車を新規設定、また、車両総重量を 14.5 トンに増大させた新增トン車を追加設定した。これにより、車型数を 36 車型と大幅に拡大し(従来は 18 車型)、幅広いユーザーニーズへの対応を図った。

(2)CNG 燃料容器には、FRP 繊維巻付補強を施したアルミ合金を採用し、車体の軽量化を図った。

【クリーンな排出ガス】

メタン(CH₄)を主成分とした天然ガスを燃料とするため、

(1)PM 及び黒煙はまったく排出しない。

(2)燃料中にイオウ分を含まないためイオウ酸化物(SO_x)も排出しない。

(3)三元触媒と組み合わせることでNO_x、CO、HC を大幅に低減することができる。

これらにより、ディーゼル車の平成 10 年排出ガス規制値に対し、NO_x を約 70%、CO を約 50%、HC を約 70%、PM/黒煙を 100%と大幅に低減させた。(社内実験値)

《目標販売台数》 フォワード CNG 車 150 台/年

<フォワード CNG 車 キャブ付シャシ 東京地区希望小売価格>(消費税含まず)

車 型	エンジン	主な仕様	東京地区希望小売価格
KK-FRR33K4X 改	6HA1	標準キャブ GVW8 トン	9,128,000 円
KK-FRR33K4S 改	6HA1	ショートキャブ GVW8 トン	8,884,000 円
KK-FSR33G4 改	6HA1	標準キャブ GVW12 トン	9,435,000 円

以上